

ピーコック電気沸とうエアーポット保証書

品 番	WCI-12/22/30		
お買い上げ日	年 月 日	保 証 期 間	お買い上げ日より 本 体 1 年
お客様 お名前 ご住所	様 電話： () 〒		
販売店 店 名 住 所	電話： () 〒		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。
お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの店に修理をご依頼ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの店で無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの店に依頼してください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、下記のピーコック魔法瓶工業株式会社のお客様相談窓口へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) 落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (二) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の表示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 6.本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 7.本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

*お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

*この保証書は本書に表示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のピーコック魔法瓶工業株式会社のお客様相談窓口へご相談ください。

*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは「保証・サービスについて」をご覧ください。



長年ご使用的
電気ポットの
点検を！

こんな症状ありませんか

- 差し込みプラグ・電源コードが異常に熱い。
- 電源コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- 保温ランプに切り換わらないときがある。
- その他の異常・故障がある。

ご使
用
中
止

差し込みプラグを
抜き、故障や事故
の防止のため、必ず
販売店に点検
(有料)をご相談く
ださい。

お客様相談窓口

0570-094891

ナビダイヤル

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用できない場合 06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。

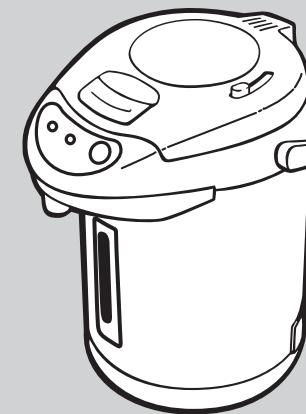


ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock 取扱説明書

このたびは、ピーコック電気沸とうエアーポットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



保証書付き

特 長

- カルキとばし沸とう
沸とう時間を延長してカルキをとばしたおいしいお湯を作ります。
- 360度回転底
カップなどの位置にあわせて注ぎ口を任意に回転できて便利です。
- 再沸とう
再沸とうボタンを押せば保温中のお湯を再び沸とうできます。

上手に使って上手に節電

後々のため、この説明書を大切に保管してください。③

ご使用の前に／安全上のご注意

○製品やこの取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

！ 警 告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

！ 注意

人が傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中には具体的な注意内容（上図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中には具体的な指示内容（上図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

○お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

！ 警 告

！ 定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



！ 差し込みプラグの刃（先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく。

火災の原因になります。



！ 差し込みプラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



！ ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しをしない。

感電の原因になります。



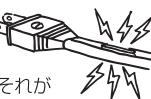
！ 交流100V以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。



！ 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火のおそれがあります。



！ 警 告

○ 禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれがあります。

○ 禁止 蒸気口をふきんなどでふさがない。
湯がふきこぼれてやけどをすることがあります。



○ 禁止 満水目盛以上の水を入れない。
湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

○ 禁止 ポットを転倒させない。
湯が流れ出てやけどのおそれがあります。



○ 禁止 水につけたり、水をかけたりしない。
感電・ショート・発火のおそれがあります。

○ 禁止 ポットを傾けない。ゆすったり、上下に勢いよくふったり、衝撃を加えない。上ふたを持って移動しない。
上ふたが外れたり、湯が流れ出てやけどの原因になります。



○ 禁止 上ふたは確実に閉める。
倒れたときに湯が流れ出てやけどのおそれがあります。

○ 禁止 上ふたを勢いよく閉めない。
湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。



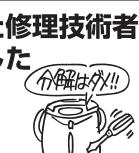
○ 禁止 水以外のものを沸かさない。
お茶、牛乳、酒等は沸き上がる時にふき出してやけどのおそれがあります。

○ 禁止 上ふたを付けたまま残り湯を捨てない。
上ふたが外れたときにお湯がかかってやけどをするおそれがあります。



○ 禁止 氷を入れて保冷用に使わない。
結露が生じ、感電・ショート・発火の原因になります。

○ 分解禁止 改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



○ 禁止 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

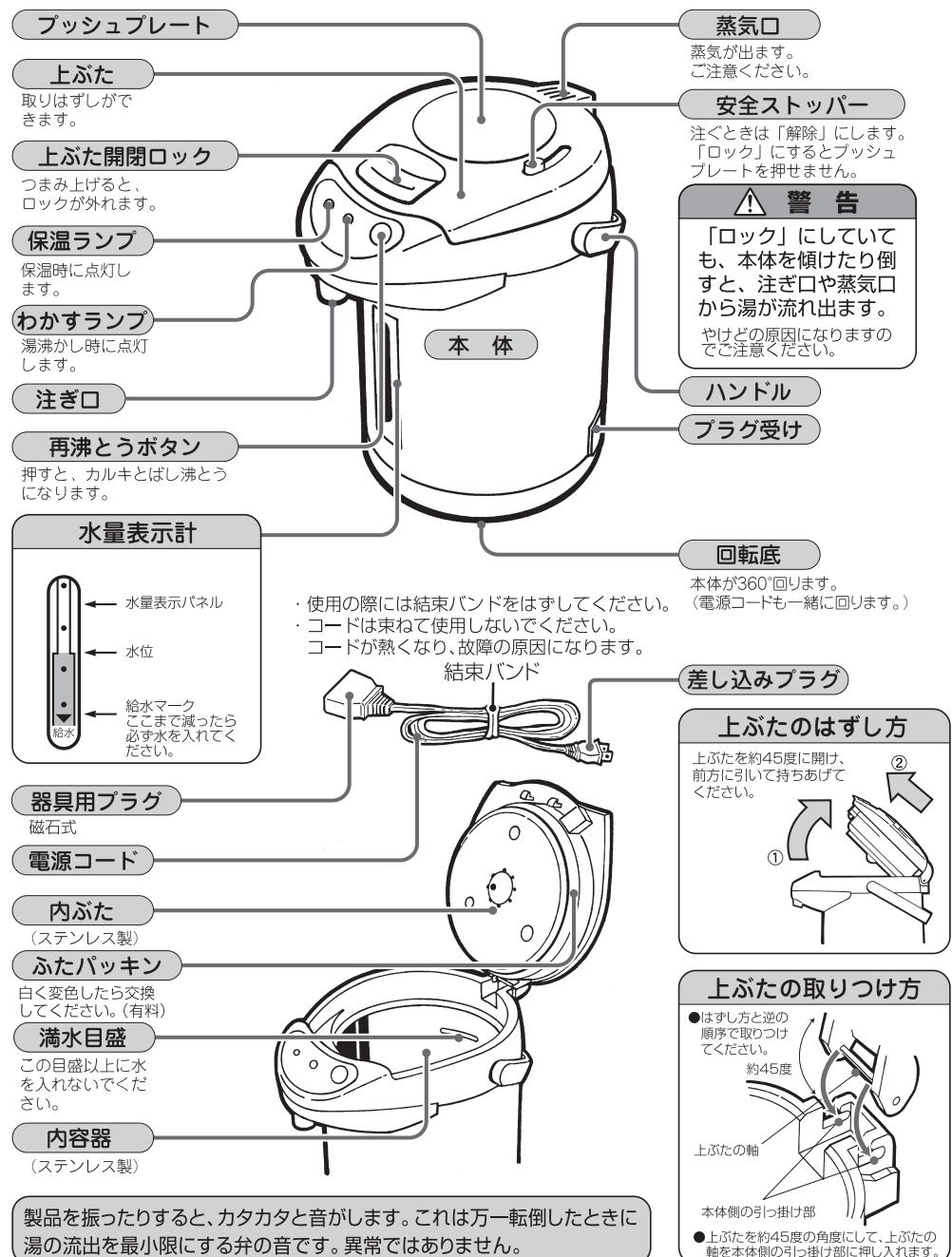
○ 接触禁止 蒸気口や本体に手を触れない。
やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。



○ 禁止 使用中、差し込みプラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する。ショートや発火の原因になります。

各部のなまえとはたらき

警 告	
 <p>器具用プラグにピンやごみを付着させない。</p> <p>禁 止 感電・ショート・発火の原因になります。</p>	 <p>器具用プラグをなめさせない。</p> <p>禁 止 乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。感電やけがの原因になります。</p>
注 意	
 <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。</p> <p>禁 止 火災の原因になります。</p>	 <p>壁や家具の近くで使わない。</p> <p>禁 止 蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。</p>
 <p>湯沸かし中は、湯を注いだり上ぶたを開けたりしない。</p> <p>禁 止 湯が飛び散ったり、蒸氣でやけどの原因になります。</p>	 <p>湯を注いでいるときに本体を回さない。</p> <p>禁 止 お湯が飛び散りやけどの原因になります。</p>
 <p>上ぶたを開けるときに出る蒸気や内ぶたに触れない。</p> <p>接觸禁止 やけどの原因になります。</p>	 <p>使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く。</p> <p>プラグを抜く けがややけど、感電・漏電、火災の原因になります。</p>
 <p>使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。</p> <p>接觸禁止 やけどの原因になります。</p>	 <p>お手入れは冷えてから行う。</p> <p>高温部に触れ、やけどのおそれがあります。</p>
 <p>差し込みプラグや器具用プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のプラグ部を持って引き抜く。</p> <p>感電やショートして発火することがあります。</p>	 <p>この製品専用の電源コードセット以外は使用しない。電源コードセットを他の機器に転用しない。</p> <p>故障、発火のおそれがあります。</p>
 <p>本体を持ち運ぶときは、上ぶたの上ぶた開閉ロックに触れない。</p> <p>禁 止 上ぶたが開いてけがやけどをすることがあります。</p>	 <p>ふたパッキンが白く変色したら交換する。</p> <p>傾けたり、誤って倒したりしたとき、お湯が流れ出でやけどのおそれがあります。</p>
<p>お願い</p> <p>●水を入れずに通電しないでください。</p> <p>内容器が変色したり故障の原因になります。</p>	<p>●湯わかし中や湯わかし直後の蒸気が出ているときは持ち運ばないでください。</p> <p>やけどの原因になります。</p>

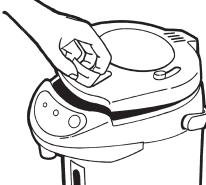


正しい使い方

○初めて使用になるときや、しばらく保管されていたときは、湯を沸かしプッシュプレートを押して湯を出し、残り湯を捨ててください。（捨て方は7ページをご覧ください。）

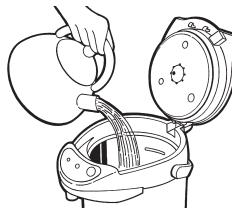
①水を入れる

- 上ぶた開閉ロックをつまみ上げ
上ぶたを開けてください。



※上ぶた開閉ロックを手前に引きながら開けると上ぶたが外れますのでご注意ください。

- やかんや水差しなどで水を入れてください。



※水を入れるときに内容器底の穴に直接水をかけると注ぎ口から水が出ます。
※給水マーク以下の水量でわかすと蒸気が多く出ることがあります。

- 満水目盛以上の水を入れないでください。

湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。

火災の原因になります。

◎空だき防止

水の入れ忘れやご使用により湯量が減り、内容器に水がない空だき状態にならないようにしてください。空だき状態を検知したら、ヒーターへの通電を自動的に切れますが、内容器の熱変色・火災・故障の原因になります。

②上ぶたを閉めプラグを差し込む

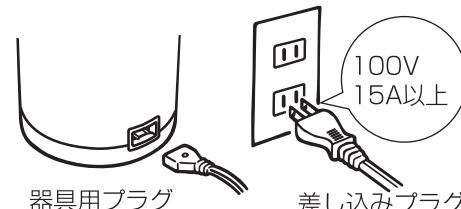
- 上ぶたを「カチッ」と音がするまでゆっくり確実に閉めてください。

※上ぶたが確実に閉まっていないと、万一倒れたときに熱湯が出て、やけどの原因になります。

- 安全ストッパーを「ロック」にしてください。



- 器具用プラグを本体のプラグ受けに、差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。



△ 警 告

- 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

- 器具用プラグにピンやごみを付着させないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

- 本体を回すと、電源コードも一緒に回りますのでご注意ください。

③わかす・沸とう→保温



Peacock

わかす・沸とう ランプ点灯



Peacock

保温 ランプ点灯

- わき上がると自動的に保温になります。

《時間の目安》

1.2L	約15分
2.2L	約24分
3.0L	約32分

水量：満水 電圧：100V
水温・室温 23℃の場合

※保温中にわかすランプが点灯して、湯わかし状態になることがあります。保温温度を調節しているためで故障ではありません。

△ 注意

- 湯わかし中は、湯を注いだり、上ぶたを開けたりしないでください。
湯が飛び散ったり蒸気でやけどの原因になります。

正しい使い方つづき

○お湯を入れたままでポットをふったりするとお湯が
ふき出る場合がありますので、おやめください。

④お湯を注ぐ

●安全ストッパーを「解除」にします。



●容器を注ぎ口の下に近づけ、プッシュプレート中央を押します。

○プッシュプレートを押すときに本体が回らないよう注意してください。

○注ぎ終わったとき、注ぎ口からしづくが落ちることがありますので、
しばらくしてから容器などを取りください。

○お湯の量が少ないと、プッシュプレートを押したときにお湯が
飛び散ることがありますのでご注意ください。

○安全ストッパーを「ロック」のままプッシュプレートを押さないでください。

●注ぎ終わったら、安全ストッパーを 必ず「ロック」にしてください。



○湯量が給水マークまで減ったら、すぐ水をつぎたすか、差し込みプラグを抜いてください。

○給水マーク以下でわかつと、内容器の変色や故障の原因になります。

水をつぎたし、再び沸かす場合

○水をつぎたすと、自動的に湯沸かしが始まります。この場合カルキとばし沸とうにはなりません。カルキとばし沸とうをする場合は再沸とうボタンを押してください。

※つぎたす水の量が少ない場合や、お湯をつぎたした場合に、すぐに湯沸かし状態にならないことがあります。

●上ぶたを勢いよく閉めないでください。湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。

●上ぶたを開けるときに出る蒸気や内ぶたに触れないでください。

やけどの原因になります。

再沸とうさせる場合

○再沸とうボタンを押してください。わかつ・沸とうランプが点灯してカルキとばし沸とうを始めます。

※沸とう直後は、沸とうボタンを押してもわかつ・沸とうに切り替わりません。
約15分位待ってから沸とうボタンを押してください。

ご使用後

①差し込みプラグ・器具用プラグを外してください。

②上ぶたを外し、注ぎ口を上側にして図のような方
向から残り湯を捨ててください。

※清潔さを保つために1日1回は残り湯を捨ててください。

※残り湯は必ず図のような方向から捨ててください。

注ぎ口から湯が出る場合があります。

残り湯の捨て方



お手入れの方法

○ご使用いただくうちに内容器の変色（赤さび状のもの、乳白色、黒色など）や湯の中に白い浮遊物が混じる場合があります。これは水質により生ずる水アカです。内容器自体の変色や腐食ではなく、また衛生上も問題ありませんが、湯の出が悪くなったりしますので、お早めにお手入れしてください。

※差し込みプラグ・器具用プラグを外してから残り湯を捨て、本体がさめてからお手入れをしてください。

※ベンジン、シンナー、ミガキ粉、金属製のたわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

内容器のお手入れ

○ぬるま湯か水を少量入れ、スポンジたわしで
洗ってください。

○変色などが取れにくい場合は次の方法でお手
入れしてください。

①市販のクエン酸を内容器に入れる。

（約30g：大さじ2～3杯）

②満水目盛まで水を入れ、湯を沸かして2～
3時間そのまま放置する。

③湯を捨て、スポンジたわしでこすり落とす。

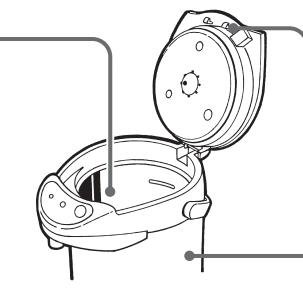
④水で充分すすいだあと、においを取るため
再び満水で湯を沸かし、その湯を捨てて。

※空だきや給水マーク以下の湯わかしによ
る熱変色は取れません。

●赤さび状のもの（もらいさび）は水に
含まれる鉄分などが酸化し付着したもの
です。こまめにお手入れしてください。

●ミネラルウォーター・アルカリイオン
水をご使用になると、カルシウム分が
付着しやすく変色や湯の出が悪くなる
原因になります。

こまめにお手入れしてください。



上ぶた・本体外側のお手入れ

○やわらかい布を水につけて、固くしぼってからふいてください。

汚れが取れにくい場合は、台所用合
成洗剤（食器用・調理器具用）をう
すめた湯をやわらかい布にふくませ、
固くしぼってからふいてください。

※洗剤を使用した場合は、水だけで固
くしぼったやわらかい布で充分ふい
てください。

△警告

●水につけたり、水をかけないで
ください。

ショート・感電・発火のおそれが
あります。

長時間ご使用にならないときは

○上ぶた、本体、内容器などの汚れを落としたのち、乾いた布でふき充分乾燥させて
ください。特に内容器は充分に乾燥させてください。

※食器乾燥機で乾燥させないでください。

○ポリ袋をかぶせ、箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?と思ったら

○次の項目について点検を行ってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店又は、弊社のお客様相談窓口(ナビダイヤル**0570-094891**)にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
湯がわからない	差し込みプラグ、器具用プラグがはずれていませんか。	プラグを差し込む。
	器具用プラグの先端に金属片やごみが付着していませんか。	差し込みプラグを抜いてから器具用プラグの先端を掃除する。
湯が出ない・出にくい	上ふたが確実に閉まっていますか。	一度上ふたを開け、再び閉めて「カチッ」と音がするのを確認する。
	ふたパッキンに異物がついたり、いたんたりしていませんか。	異物は取り除く。ふたパッキンが白く変色したりいたんでも交換する。(お買上げの販売店にご相談ください。)
湯が自然に出る	満水目盛以上の水を入れていませんか。	水を減らしてください。
湯がとうとき	使い始めは、プラスチックなどのにおいがすることがあります。	ご使用とともに少なくなります。
	水に含まれる成分などによってはとうことがあります。	
湯沸かし中に音がする	湯沸かし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。	
製品を振ると音がする	万一転倒したときにお湯の流出を最小限にする弁の音で、異常ではありません。	

消耗部品のご購入について

○ふたパッキンは消耗部品です。白く変色したり、変形や破損がある場合は新しい部品(有料)と交換してください。

○製品型名・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。
(製品型名は製品背面に記載されています。)

- ①ホームページ……… トップページのオンラインショップからお求めください。
(取扱部品が限られていますが、ご了承ください。)
- ②販売店…………… ピーコック製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……… お電話もしくはFAXにてお申込みください。 (11ページ)

部品名
WCI型 上ふたセット(内ふた・ふたパッキン)
WCI型 ふたパッキン
WCI型 電源コード

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

保証・サービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い。

必ず「販売店及びお買上げ日」をご確認のうえ、お買上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

3. 修理を依頼されるとき

〔保証期間中〕

製品に保証書を添えて、お買上げの販売店へご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。

〔保証期間を経過しているとき〕

お買上げの店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。



4. 電気沸とうエアーポットの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 上記内容についての詳細、ご贈答品・ご転居の場合など、その他製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買上げの販売店又は、ピーコック魔法瓶工業株式会社のお客様相談窓口にご相談ください。

△ 警 告

●改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

仕様

※特定地域(高い山・厳寒地など)においては所定の性能が確保できないことがあります。

品 番	WCI-12	WCI-22	WCI-30	
容 量	1.2L	2.2L	3.0L	
定 格	交流100V(50/60Hz) 650W			
消費電力量 ※	1日当たり(kwh/日) 年間 (kwh/年)	0.75 275	0.92 336	1.22 444
外形寸法 (ハンドルを倒した状態)	幅 奥 行 高 さ	約19.5cm 約25.6cm 約23.1cm	約19.5cm 約25.6cm 約29.6cm	約19.5cm 約25.6cm 約34.0cm
質量 (コードを含む)		約1.6kg	約1.8kg	約1.9kg
給湯方式		手動エアー式		
コードの長さ		約1.4m		
温度ヒューズ	99℃	109℃	109℃	

※消費電力量はJEMA(日本電機工業会)自主基準による測定。

※(室温23℃、湯わかし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温23時間/1日、365日/年間)